

# 新緑知多研究研修報告書

## 1 研究研修項目

「総合計画と自治体ガバナンスの改革」

「地方自治体の投資戦略～地域付加価値の創出と持続性の確保に向けて」

「指定管理者制度研究会『協定と財務処理・資産管理』」

主催 株式会社図書館総合研究所

## 2 研究研修場所

図書館流通センター

(東京都文京区大塚3-1-1)

## 3 実施年月日

令和2年2月3日～5日

新緑知多研究研修報告書

実施年月日	令和2年2月3日(月)
研究研修場所	図書館流通センター
研究研修項目	総合計画と自治体ガバナンスの改革
参加者	川脇裕之
研究研修内容	<p>【概要】総合計画は、執行部・議会・住民の情報共有を核とした信頼関係はもとより、政策の考え方、議論の仕方、評価の仕方など、自治体の全てに関わる重要な場を提供してくれるものである。地方自治における機能と計画体系、計画の策定方法、PDCAサイクルの改革と目標値設定のあり方、議会での議論のあり方など、総合計画をめぐる問題を整理し、自治体ガバナンスの改革に向けたアプローチの仕方などについて考える。</p> <p>【講師】宮脇 淳（北海道大学大学院法学研究科・同 公共政策大学院教授）</p> <p>【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の根本的課題 ・総合計画策定プロセス</li> <li>・総合計画とリスク認識 ・総合計画に関し議会/行政が共有すべきこと</li> <li>・総合計画実施のガバナンス（PDCAサイクル） ほか</li> </ul>
所 感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画は、往々にして策定すること自体が目的化し、大きな労力が投入される割には、策定後に自治体経営のガバナンスの基軸として実質的に活用されることは少ないのが実態である。</li> <li>・「基本構想・総合計画は長期的な視野で自治体経営の羅針盤であるべきにもかかわらず、作成すること自体が目的となり、個々の事務事業を羅列するにとどまり、体系的な活用や地域との共有が実務的に困難となる空虚な実態に陥っている」（宮脇淳）との指摘は現実の問題点の明確な分析だと考える。</li> <li>・総合計画は政策目標とアクションプランを記載すべきだと考えるが、実態は雑な現状分析と希望的観測を記す書類を作成することが目的となってしまっている。仏作って魂入れずの状態である。しかも総合計画を民間コンサルティング会社にほぼ丸投げした結果、低品質な産物と化している事例が多いと考える。</li> <li>・総合計画だけではなく、まち・ひと・しごと創生総合戦略、基本構想などが、職員自らが熟考して出したアウトプットではなく、その計画や政策に誰も責任を取らない状況が発生してしまっているのではないか。</li> <li>・総合計画は「地域の実現すべき大きな姿を示しそこから具体的な事業などを結びつける演繹的方法によるアプローチ」「個別の事業や課題解決方法を検討し、計画として体系化していく帰納的方法によるアプローチ」を有機的に結びつける必要がある。</li> <li>・自治体行政は、総合計画をはじめ「書類を作成すること」自体が目的となっており、地域の問題点を洗い出したり解決策を提示する取組に時間と金と稼働が投じられていない。計画や構想は「何のために策定するのか」、「誰のために策定するのか」という基本に立ち返るとともに、「どのように機能させるのか」に重点を置いて取り組むべきだと考える。</li> </ul>

新緑知多研究研修報告書

実施年月日	令和2年2月4日(火)
研究研修場所	図書館流通センター
研究研修項目	地方自治体の投資戦略～地域付加価値の創出と持続性の確保に向けて
参加者	川脇裕之
研究研修内容	<p>【概要】とりわけ地方部では、地域経済・社会の縮退が歩を速めている。一方では経済がグローバル化とともに非物質化を進める中で、我が国の地域社会が将来を切り拓いていくためには何が必要だろうか。今回は、経済の本質的変化と社会的投資の意味を捉え直し、地方自治体が地域自体と公共サービスの持続性を確保していく上で求められる、人・環境・関係性への投資など地域政策の新たな戦略のあり方について、地域固有資源の活用と文化性の高いまちづくりなどの事例を交えながら、理論的かつ実践的に解説する。</p> <p>【講師】諸富 徹(京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授)</p> <p>【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の持続可能な発展に向けて</li> <li>・人口減少時代都市/地域の経営はどうあるべきか</li> <li>・「地域経済循環」を通じて「エネルギー自治」の獲得を</li> <li>・主体としての自治体/公益事業体</li> <li>・「地域づくり」にとっての可能性 ほか</li> </ul>
所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エネルギー(特に再生可能エネルギー)は、農林業と結びついて地域の付加価値を増加させる非常に有力な手段である」(諸富徹)との指摘は非常に挑戦的な提案であり検討する価値が大きいと考える。</li> <li>・ただし、今後人口減少が一層加速していくと予測され、特に地方経済は担い手と需要減少に直面し、大きな困難に直面する。コンパクトシティ化を通じて円滑に縮小・撤退する戦略を考えねばならないフェーズにあると考える。</li> <li>・そもそも人口が地方に維持されない限り、国土の維持管理が困難になり、自然資本の崩壊が加速、自然災害が増加するのではないかと。</li> <li>・「縮退化政策で中心市街地の魅力を高める→地価の維持→固定資産税の維持」の観点が重要。</li> <li>・必要な社会資本整備を通じて、地域に付加価値を生み出す仕組みを構築することが望ましいが、全ての地方を救うことはできないと考える。自治体のポテンシャルを精査し選択と集中を決断して投資する対象とそれ以外を分けることが必要ではなかろうか。</li> <li>・その上で「自治体が、地域の企業や地域金融機関と協力して、地域的経済循環を創出する試みに着手すべきだ」(諸富徹)との指摘を実践すべきだと考える。</li> <li>・税源移譲や中央政府からの財政移転の増額は期待できない。地域を豊かにする資金は、自治体自らが稼ぐ必要があるとの視点は常に意識したい。</li> </ul>

新緑知多研究研修報告書

実施年月日	令和2年2月5日(水)
研究研修場所	図書館流通センター
研究研修項目	指定管理者制度研究会「協定と財務処理・資産管理」
参加者	川脇裕之
研究研修内容	<p>【概要】導入後15年あまりが経過し大きな広がりを見せる指定管理者制度をめぐって、法的・実務的側面から課題を精査し、公共サービス提供における官民連携をより望ましい姿で実現していく具体策を検討する。</p> <p>【講師】宮脇 淳（北海道大学大学院法学研究科・同 公共政策大学院教授）</p> <p>【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度に至る経緯と特性（直営から指定管理に至るプロセス、指定管理者制度の特性、協定に関する法的性格の明確性、指定管理者制度の選択の基準）</li> <li>・公会計と企業会計の制度的違い（財政法の原則、企業会計原則、公会計改革）</li> <li>・指定管理者制度の財務的ガバナンス（指定管理料の変更、利用料金制、維持管理費、リスク分担問題としての認識と財務処理） ほか</li> </ul>
所 感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的な施設の管理・運営を民間企業やNPO法人などに代行させる制度である「指定管理者制度」は、自治体の財政逼迫を背景に、民間の力を導入する目的で始まり、図書館、体育館、病院や斎場の運営などが行われている。民間の指定管理者は全国で約3万事業者、指定管理施設は7万施設以上に上っている。</li> <li>・民間のノウハウを活かしたサービス向上ができていなかったり、また、一部の業務範囲・費用負担や災害時の業務のあり方などが曖昧で、民間が及び腰になっていたりするケースもみられ、官民ともに制度を十分活用できていない。</li> <li>・制度や運用に関する主な課題として「指定管理の導入に際し予算や職員の削減など行政改革の面が実質的に強調されやすいこと」「地方自治体の条例・施行規則、従来からの管理型思考により運営が硬直的になる」などがある。</li> <li>・指定管理者制度の導入により即座に行政のスリム化が実現すると考えることは適切ではなく、指定管理者とともに公共サービス提供について考え行動する姿勢が地方自治体には重要である。</li> <li>・指定管理者制度の選択の基準は次の2つを満たす必要がある。「①公の施設の目的を通じた公共の福祉の増進が可能か」、「②民間企業等の創意工夫を活用し効率化が図れるか」。公共性の確保、公共性の相対化、民間企業などの独立性、リスク分担を明確にして指定管理者制度を判断する必要がある。</li> <li>・指定管理制度を活かせるか否かは地方自治体、指定管理者、住民の協働への理解と姿勢にかかっている。「民間事業者の自由度を担保し民間事業者の創意工夫を施設サービスの価値向上に結びつける」という本来の趣旨を重視して取り組むことが重要であると考えている。</li> </ul>